

千客万来 (第23号)

1 はじめに

皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。お見舞い申し上げます。

暖冬のためか、裏庭の小梅が満開になり始めました。ところが今日は一転してこの冬一番の寒さとなり、咲いてもいいのかどうかと迷っている事でしょう。



去年は、本当に多くの方々から温かいご支援を頂き、大変有難うございました。厚くお礼を申し上げます。

本年も皆様方のご期待に沿い得るように、スタッフ一同さらに精進いたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

〈左から福井・水田・藤森・笠原・吉岡〉川上・木村お休み



(花澤 茂・睦子)

2 所信

- ★「美味しい・珍しい・安全だ」などと、皆様に愛される『花澤のぶどう』づくりに励みます。
- ★ご指摘いただいた事柄を一つでも少なくするように努力し、ご好意を無にしないよう注意して励みます。
- ★低農薬～無農薬化への更なる努力をいたします。そのために、清潔な栽培環境の確保・そしてCFW（次亜塩素酸水）の活用に取り組みます。
- ★土づくり（完全有機栽培）・灌水方法・完熟果の輸送方法・荷造り方法の改善なども研究します。
- ★新品種の育成にも力を注ぎます。交配による新品種の育成を継続します。
- ★「ハイベリー」の高級化を目指します。

黒いぶどうの中で、皮のまま食べられ・種無しに出来て・最高に美味しいぶどう・・・と、ジワジワと人気向上しているぶどうです。栽培技術のさらなる研究を進め、「桃太郎ぶどう」と同様、素晴らしいぶどうになるように努力します。

3 管理状況の報告（昨秋から春を迎えるまで）

—秋の収穫が終り落葉期までが新しい年の生育を支える貯蔵養分蓄積期です。—

1お礼肥：11月6日～11月26日迄に2回に分けて入れました。1株当たり約200キロの堆肥を株元にマルチします。施肥が早くても遅くても美味しいぶどう作りの妨げになります。適期の判定は私のノウハウで・・・。

2摘葉：昨秋は予想外に暖かい日が続き落葉が遅れました。光合成能力の衰えた葉がいつまでも着生していると、翌春の発芽の初期生育が妨げられます。そのため12月20日から28日までに強制摘葉してその葉も堆肥にしました。

3園地の清掃

摘葉と同時に園地内を清掃し、病虫害の越冬場所を除きました。目下は雑草も落葉もなくき

れいです。

4 整枝・剪定

1月4日から剪定を始め、2月上旬には終了しました。樹齢や樹勢に合わせて、樹液の移動・枝葉の生長・結果量などをシュミレーションしながら、不要な枝を判定し切り落とします。



(県外のみなさん)

若木を育てておられる皆さんは、県内外を問わず、この時期に研修にお見えになります。

切り口には、乾燥防止・病虫害侵入を防ぐため、ペーストを塗り保護します。剪定した枝は、チップパー（細砕機）にかけ落ち葉や藁と混ぜて堆肥にしました。

トップジン塗布



5 温度・水の管理

秋から冬にかけては休眠させるため、ハウスの窓は全開し低温に遭わせています。水は10日おきぐらいに15mm～20mmを全面に与えます。乾くと樹勢が衰えます。

6 春に向けてこれからの予定

(ア) 苗木を作るための穂木の調整と接木の準備

(イ) 新品種育成に向けての計画立案

(ウ) ビニールハウスの修繕（ところどころ破れたり穴が開いたりしている）

(エ) 発芽前の休眠期防除

(オ) 低農薬～無農薬栽培に向けての試験計画

(カ) ハウス保温のための2重フィルム展張

など春を迎えるための諸準備があります。なかなか休む暇がありません。



4 トピックス

◎ お客様感謝デーを3日間開催（10月27・28・29日）

ぶどう研究所を開設して10周年の記念と新品種の開発を始めて40周年を記念して地域の皆様にぶどう園を3日間開放しました。ご近所（下・江尻地区中心）の方々には、平素のご支援を感謝し、



(開発品種も写真展示)

研究内容や栽培・生産販売の内容を公開し、一層のご支援をいただくため上記の行事を行いました。思いがけず好評裏に無事終了しました。

今年はもっと広い範囲の皆様へ報知したいと話しています。

チラシ作成・計画立案・写真撮影・会場整備・販売協力・陣中見舞い後片付けなど、陰で支えて下さいました皆様へ心より感謝申し上げます。



スタッフ木村さんの素敵な文字でお迎えます！

販売コーナーも人気でした



500円・1000円袋

★「感謝デー」の進め方★

- ①品種の説明・試食→②ぶどう園見学→③購入・摘み取り〈希望者〉→④計量→⑤支払い→⑥歓談→⑦アンケート記入（最終日はボランティアで長光秀樹様のハーモニカの演奏が会を盛り上げて下さいました。）

遠方の方々も熱心でした



品種の説明を聞き試食です

◎食と農の教育活動

地元の幼稚園・小学校・中学校・高校の生徒を対象に地域や日本の農業の食べ物への関心を高めるため出来る限りの協力をしています。

① 幼稚園

ハウスのすぐ東隣が幼稚園です。ハウスの南側や東側の道を園児のみなさんは毎日保護者の方々に連れられて通園しています。ぶどう園の棚の下でぶどうの話をした後「桃太郎ぶどう」・「ハイベリー」の試食をしました。

幾人かの子供さんが、全部食べてしまわないで大事そうに手の中へしまい、「お家に持って帰って食べさせてあげるの。」と話してくれた姿に、温かいご家庭の教育が伺えて感激しました。

年長組のみなさんからは、翌日可愛らしいお礼のお便りをいただき、スタッフ一同大喜びしました。「ハイベリー」の名前と味をしっかりと覚えていて、後日買いに来てくださった方もありました。

② 江西小学校

総合学習の一環として3年生の児童を対象に「ぶどう物語」をしました。その後、色々な品種を展示し、季節的にまだ残っていた品種の試食をしました。地域の農業に少しは関心を持ってくれたことでしょう。中には鋭い質問もあり頼もしく感じました。その日の内にお礼の手紙が届き、担任の先生のご配慮が伺えました。

③ 瀬戸中学校

3年生の職業調べのグループ活動でしょうか。代表の生徒さんからの電話が入り5人の生徒さんが見えました。質問の順序も内容もきちんと整えて効率よく質問をしてあれこれ取材して帰られました。農業の未来の役割について、もっと関心を持ってもらおうと、少し高度な話になりましたが、有意義な話し合いが出来ました。



④ 瀬戸南高校（果樹グループ）

『学校独自の品種を開発したい』との要望で、交配の方法を伝授しました。1年に1度しか交配は出来ないのも、先生も生徒さんも懸命に挑戦をされました。昨年の秋にやっと収穫で

きた種は僅かでしたが、この種をもとにこれから研究が進み、新しい品種が生まれる事を願って止みません。後日学校の方からDVDに収録した映像をいただきHPに載せました。この学校は、私の出身高校で以前「瀬戸農業高校」と言われていました。私はここで教師としても勤めることが出来てご縁の深い高校です。

◎岡山市へ合併

平成19年1月22日より赤磐郡改め岡山市となりました。

Oni ビジョン（ケーブルテレビ）が「とことん瀬戸町」案内版で晩秋の活動状況を放映して下さいました。県内の学生時代の友人や教師時代の先輩や同僚・ご近所の方々そして親族などから「テレビを見たよ。頑張っているんじゃないか!」とお電話が届きました。何十年ぶりかでお声を耳にした方もあり、大変嬉しく思いました。

「秋峰」の取材に



Oni ビジョン赤澤記者

住所表示は下記の通り変更になりました

〒709-0856 岡山県岡山市瀬戸町下 274-6

T E L 086-952-1107 ・ F A X 086-952-1635 ・ I P 電話 050-3430-7350

<http://www.setogiants.com>

E-mail info@setogiants.com

◎CFW（クリヤーフィールドウオーター）との出会い

逸見電機エンジニアリング（株）社長の逸見秀孝氏との出会いで、CFWのお話を伺い、無農薬栽培の可能性を求めて一歩前進しました。会社へも長男と共に邪魔し、勉強させていただきました。国内外で脚光を浴びておられます。医療機関では既に使用されていて実績も上がっています。ぶどう栽培でいい結果が出せるといいなあ夢が膨らみました。今年から実用化に向けて挑戦をします

5 あとがき

* 去年は7月までの多雨に泣かされました。野菜なども著しい減収、農家の皆さんは大変な苦労をされました。桃にいたっては、味が悪く商品として扱える品が例年の3分の1にも満たないと伺いました。一年に一度しか採れない作物が、春の天候不順で大きな影響を与えます。ぶどうも例外ではありません。ただ7月以降、雨が少なく日照量が多かった事、台風の被害もなかった事で救われました。天候に左右されない作り方は出来ないものかと頭を悩ませています。今年の好運を祈るばかりです。

* ぶどうの苗木があります。春植えに適期です！

3月中旬までに植え付けをされるとよろしい。ご希望の方はご連絡下さい。

お知り合いの方へも話してあげてください。

①「瀬戸ジャイアンツ」の苗木・②「ハイベリー」の苗木
どちらも沢山あります。

*今年の作柄を見極めて7月末までには注文書とお便り24号をお届けいたします。

終わりにになりましたが、皆様の更なるご多幸とご健康をお祈りしながら筆を止めます。

(H19・2・20 編集 花澤睦子)